

平成 29 年 10 月 31 日

平成 29 年度 施設見学会を開催

(一社)日本物流団体連合会(田村修二会長)は、平成 29 年 10 月 25 日(水)、名古屋港の飛島コンテナ埠頭(愛知県海部郡飛島村)にて、平成 29 年度施設見学会を開催し、会員企業・団体等から 33 名が参加した。

飛島コンテナ埠頭株式会社は、日本で唯一の自動化コンテナターミナルを運営し、遠隔自働 RTG(ラバータイヤ式ガントリークレーン)や AGV(自働搬送台車)などの設備がターミナル運行管理システムにより自働制御されることで、安全で効率的なオペレーションを実現している。

冒頭、物流連 与田理事長より挨拶があり、続いて飛島コンテナ埠頭株式会社の粕谷悟代表取締役社長より、会社設立から現在までの歴史や自動化システムの設計思想、および海外の自動化港湾施設との比較などの説明があった。

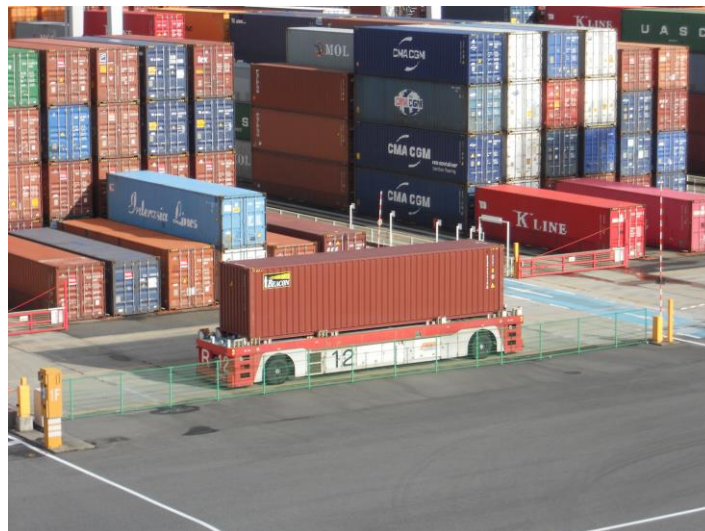
続いて 2 班に分かれて行った見学では、荷役を監視、制御する遠隔操作室や、建物屋上より施設全体を見ながらの説明等があった。

遠隔操作室では、少人数のオペレータがモニタ映像を見ながら自働 RTG を遠隔操作してトレーラへのコンテナ積降作業を行う様子を見学し、安全性と効率性を実現させた荷役作業を学んだほか、屋上からの見学では、システムが判断した優先順位に従って複数の AGV と RTG が見事に制御されている様子を見ることができた。

最後に質疑応答の時間が設けられ、参加者からの活発な質疑があった後、本見学会は終了した。



施設全景



構内を走行する AGV（自動搬送台車）



説明会および質疑応答の様子